

# BEA VOICE

20年ぶりの福岡開催にして、ラスト!  
ウッドストックに憧れた若者たちの軌跡と今。



## 南こうせつ KOSETSU MINAMI サマーピクニック SUMMER PICNIC

～さよなら、またね～

Presented by

第一興商

9/28 福岡・海の中道海浜公園野外劇場

スペシャルゲスト

伊勢正三  
イルカ  
海援隊  
長渕剛  
BEGIN  
森山良子



### INTERVIEW

さなり ジャンルを自在に行き来する  
みずみずしい感性のトップアーティスト

## PAELLAS

ストイックな音の追究と美しきポップネスの開花  
シーン最前線に立つ新作を携え、問もなく来福!

## 橋本裕太

集大成のアルバムを感謝とともに伝えるライブに。

### LIVE REPORT

## GRAPEVINE

光を巡り果てない螺旋を往き来する者たちが  
完成を目指さぬ先に起こした凄まじい昂揚。

# 07

No.482 July 2019  
The music magazine  
that charms you.





July 2019 | 7 »

| TOPICS |



**EXID**

韓国発ガールズグループ。'14年、ファンが投稿した動画をきっかけに大ブレイク。韓国で圧倒的人気を誇るハニを中心に、可憐でエネルギッシュなパフォーマンスで魅了。EXIDと熱い夏をどうぞ。  
>8/14(水) Zepp Fukuoka



**ELECTRIC MUD**

Vo 菊 / G 春日弘 / B 穴井仁吉 / D 兎平  
ロックレジェンド、柴山俊之(菊)率いるELECTRIC MUD。5月発売のライヴアルバム『ROCK A LA MODE』は、菊の荒々しくも文学的な詩とブルースが炸裂! 全ロックファン必聴!  
>8/31(土) DRUM LOGOS



**ラックライフ**

4人組ロックバンド。シングルはアニメとのタイアップで展開中。最新作はTVアニメ『文豪ストレイドッグス』第3シーズンのED。見た景色の全てを音楽にしながら走り続ける彼らのツアーが決定。  
>9/14(土) FUKUOKA BEAT STATION



**SPICY SOL**

Surf Beat Musicを掲げ、様々なジャンルを取り入れたサウンドにメロウな歌声で曲を紡ぐ新世代ハイブリッド・バンド。最新曲はビーチスポート「フレスコボール」の公式応援ソング。  
>9/23(月・祝) ROOMS



**LEO IMAI [LEO今井 / 岡村夏彦 / シゲクニ / 白根賢一] ZAZEN BOYS**

LEO IMAIの自主企画ツアーマンライヴ「大都会」、待望のツアー化! 福岡はZAZEN BOYSを招聘。何が飛び出すかは予測不能。奮ってご参加を。  
>10/1(火) FUKUOKA BEAT STATION



**ハンバートハンバート**

プライベートでもパートナーな三児の父母。6/26にライヴ音源によるバラードベスト『WORK』をリリース&平日限定ツアーの“秋篇”決定! ライヴごとに変わるアレンジと二人の魅力をお届けいたします。  
>10/10(木),11(金) イムズホール



**TRI4TH**

“踊れる、叫べるJAZZ”を体現する音楽性でイマ最高に熱い! さらに“歌える”というコンセプトを加えたアルバム『jack-in-the-box』を7/10に発売。歌えるJAZZ! 最高じゃん!  
>10/19(土) FUKUOKA BEAT STATION



**ザ50回転ズ**

結成15周年記念の全国ワンマンツアーが大決定。アコースティックコーナーが復活し、ツアタイ通り15年分の“おおきに”を込めた盛り沢山な内容をお届け。一緒にアニバーサリーをお祝いしよう。  
>10/20(日) LIVE HOUSE CB



**TENDRE**

マルチプレイヤー、河原太朗のソロプロジェクト。大らかなグルーブの中に繊密なアンサンブル。自然体で艶やかに奏でられ、著名人がSNSに上げるなど話題沸騰中。10/2 発売EPのリリースツアーが決定。  
>10/20(日) the voodoo lounge



**フレンズ**

都会的なライフスタイル、友情や恋愛をオフビートな独特コメディに仕立て上げている自称神泉系バンド。ライヴ、寸劇、ダンスなどフレンズ魅力満載のエンターテインメントショーなるか?!  
>11/1(金) DRUM LOGOS



**弥栄**

寺生まれ寺育ちのSSW。孤独に寄り添う抱擁力のある歌声で様々な場所へ歌を届ける。介護施設への慰問活動では、その志と聴き手の深い郷愁を呼ぶ音楽の力が話題に。中高年女性を中心にブレイク中。  
>11/3(日・祝) 福岡市民会館



**KAN**

BANDスタイルでのLIVE TOUR決定。「この期におよんで更なる進化を遂げようとしているような気がするかもしれないエキセントリックなエンターテインメントショーに御期待ください」とのこと!  
>11/15(金) Zepp Fukuoka

◀◀◀◀◀ 三浦大知

ドラマ「白衣の戦士!」挿入歌を収録した通算25枚目のシングル『片隅/Corner』と、自身最多公演数、最多動員数を記録したONE ENDツアーのファイナルを収録した映像作品『DAICHI MIURA LIVE TOUR ONE END in 大阪城ホール』を6/12に同時リリース。そして4都市6公演のツアーも決定。国内外問わず高く評価されている圧倒的なパフォーマンスを生で体感できるチャンスです!  
>10/31(木) マリンメッセ福岡



**モーニング娘。'19**

6/12にシングル『人生Blues / 青春Night』、7/10にDVD『Happy Night』を発売。アイテム制覇でツアーへgo!  
>11/16(土) アルモニーサーク九州ソレイユホール(2回公演)  
>11/17(日) 宇佐文化会館・ウサノビア[大分]



**Aimer**

独特のハスキー&甘い歌声で絶大な人気を誇るAimer。8/14発売のニュー・シングル『Torches』はTVアニメ『ヴァインランド・サガ』EDに。アジアツアーも発売でますます見逃せない存在へ。  
>12/6(金),7(土) 福岡サンパレスホテル&ホール



**EMPIRE**

WACKとavexによる共同プロジェクト。新体制になっての初シングル『SUCCESS STORY』が7/17発売。初回限定盤はまたもやカセット! 11月からは全国12都市ツアーが開幕だ。  
>12/12(木) DRUM SON



**ORANGE RANGE**

沖縄コザ在住の5人組。『キリキリマイ』『花』などヒット曲多数。CD・DVDの売上が1,300万枚にも及ぶ言わずと知れたモンスターバンド!  
>12/14(土) 佐伯文化会館[大分]  
>12/15(日) 荒尾総合文化センター[熊本]



**チキンナゲツ**

福岡を中心に活動中の3人組アコースティックロックグループ。昨年クラウドファンディングでサンパレス公演を成功。結成10周年を迎える今年は全国10カ所ツアー。ファイナルはもちろん福岡。  
>12/20(金) Zepp Fukuoka

P I C K U P !



**Suchmos** 監督公演  
ARENA TOUR 2019  
7月15日(月・祝) 福岡国際センター



**THE YELLOW MONKEY**  
THE YELLOW MONKEY SUPER JAPAN TOUR 2019  
~GRATEFUL SPOONFUL~  
7月13日(土)・14日(日) マリンメッセ福岡

**怒髪天**  
10月26日(土) 鹿児島SRホール  
10月27日(日) 小倉 FUSE  
1月13日(月・祝) 福岡 嘉穂劇場



**森口博子**  
ライブツアー2019 お届け! Summer おつかれ Summer!!  
メンバー: 橋本大(PO) / 佐々木秀典(GU) / 藤原謙(BA)  
斎藤たかし(Dr) / 斎藤雅樹(Sax) / 石井真(Tp) / 池田雅博(Bs)  
8月17日(土) 福岡 Gate's7 [2回公演]



**INORAN**  
TOUR 2019「COWBOY PUNI-SHIT」  
9月16日(月・祝) 福岡 DRUM Be-1



**ナードマグネット**  
さいきょうツアー ゲストあり  
10月19日(土) 福岡 graf

**manaco** [2回公演]  
9月16日(月・祝) 福岡 Early Believers

**下川みくに**  
9月7日(土) 福岡 LIV LABO [2回公演]



**RHYMESTER**  
KING OF STAGE VOL.14 47都道府県 TOUR 2019  
7月27日(土) 佐賀 GEILS  
7月28日(日) 鹿児島 SRホール  
11月2日(土) 大分 DRUM Be-0  
11月3日(日・祝) 長崎 DRUM Be-7  
12月21日(土) 福岡 DRUM Be-1



**BugLug**  
8月23日(金) FUKUOKA BEAT STATION  
11月10日(日) 鹿児島 SRホール  
11月24日(日) 沖縄 桜坂セントラル

**BugLug**  
8月23日(金) FUKUOKA BEAT STATION  
11月10日(日) 鹿児島 SRホール  
11月24日(日) 沖縄 桜坂セントラル

**CANTA**  
2019年 秋ツアー  
10月12日(土) 福岡 DRUM Be-1



**WEAVER**  
"10 2" TOUR 2019「I'm Calling You」流麗グループ-」  
9月14日(土) 福岡 DRUM Be-1  
9月15日(日) 熊本 B.9 V2

**Plastic Tree**  
9月21日(土) 熊本 B.9 V1  
9月22日(日) 福岡 DRUM LOGOS

**宇崎竜童**  
9月15日(日) 佐賀 鳥栖市民文化会館  
9月16日(月・祝) 宮崎 日向市文化交流センター

**夜の本気ダンス**  
7月20日(土) FUKUOKA BEAT STATION

サマーピクニック  
**History**

1981.7/26 熊本県阿蘇郡産山村「卑弥呼の里」  
ゲスト:伊勢正三・五十嵐浩晃

1982.8/7~8 熊本県阿蘇郡 坊中キャンプ場  
ゲスト:アルフィー・サザンオールスターズ  
山下久美子・ロバード・高田渡・阿呆鳥

1983.8/6~7 熊本県阿蘇郡 坊中キャンプ場  
ゲスト:伊藤さやか・松山千春・長瀬剛  
伊勢正三・加川良・小西博之  
清水由貴子・岩崎雄一

1984.8/4~5 福岡県宗像郡津屋崎町 彫刻の岬「恋の浦」  
ゲスト:武田鉄矢・中原めいこ・子ヤゲ&飛鳥  
宇佐元恭一・小室等・畑正憲・畑明日美

1985.8/3~4 福岡県宗像郡津屋崎町 彫刻の岬「恋の浦」  
ゲスト:長瀬剛・中村あゆみ・杉田二郎  
杏里・ZIG ZAG 倉橋ルイ子・近藤正臣

1986.8/2~3 福岡県宗像郡津屋崎町 彫刻の岬「恋の浦」  
ゲスト:松山千春・ハイ・ファイ・セット・BOOWY  
小堺一機・下田逸郎・かまやつひろし  
ゼロスベクター・ラフ&レディ

1987.7/25~26 福岡県福岡市 海の中道海浜公園  
ゲスト:吉田拓郎・ふきのとう・伊藤かずえ  
CLAXON・高井麻巳子・安藤秀樹

1988.7/23~24 大分県 久住高原沢水キャンプ場  
ゲスト:沢田研二・ラフィン・ノース・C-C-B・ゆうゆ  
ブレッド&バター・De-LAX・真璃子  
伊勢正三・ZIG ZAG

1989.7/29~30 熊本県荒原市 三井グリーンランド  
ゲスト:BAKUFU-SLUMP・THE TOPS  
永井真理子・ANGIE・ZIG ZAG・勝誠二  
伊勢正三・喜門達夫・ピンクの電話

1990.8/11~12 福岡県福岡市 シーサイドももち  
ゲスト:松山千春・五十嵐浩晃・中村あゆみ・植太郎  
吉田拓郎・井上陽水・喜門達夫・Dig it・CHAGE&ASKA  
ふきのとう・村下孝蔵・杉田二郎・小室等  
宇佐元恭一・永井雄雲・下田逸郎・石川鷹彦・風  
イルカ・山本コウタロー

サマーピクニックドリーム  
1999.8/8 福岡県福岡市 香椎パークポート特設ステージ  
ゲスト:松山千春・吉田拓郎・井上陽水・喜多郎  
伊勢正三・山本潤子・財津和夫・石川鷹彦  
DIAMANTES・速水けんたろう・かばちや露会  
山田パンダ

サマーピクニックフォーエバー in つま恋  
2009.9/20 静岡県掛川市 つま恋  
ゲスト:伊勢正三・イルカ・島崎幸之助  
ムッシュかまやつ・森山良子・尾崎亜美・松山千春  
小田和正・山本潤子・渡川りみ・BEGIN  
シークレットゲスト:加藤和彦・杉田二郎

サマーピクニック Love & Peace  
2014.9/27 大阪府枚田市 万博記念公園東の広場  
ゲスト:松山千春・さだまさし・森山良子・イルカ  
横原敬之・伊勢正三・太田裕美・杉田二郎・大野真澄  
シークレットゲスト:ムッシュかまやつ・ももいろパルサーズ

1990年8月11~12日 福岡市シーサイドももち

2009年9月20日 静岡県掛川市つま恋

2009年9月20日 静岡県掛川市つま恋

1981年7月26日 阿蘇郡産山村「卑弥呼の里」

1999年8月8日 福岡市香椎パークポート特設ステージ

南こうせつ [みなみ こうせつ]  
'49年生まれ、大分県出身。'70年デビュー。直後に「かぐや姫」を結成し、「神田川」「赤ちようちん」「妹」等数々のミリオンセラー楽曲を生んだ。かぐや姫解散後もソロとして「夏の少女」「華一夜」等多くのヒット作品を発表。'75年静岡県つま恋で国内初の野外オールナイトコンサートを吉田拓郎と共に開催。'81年からはサマーピクニック、'86年からは広島ピースコンサートとロングレンジのビッグイベントを次々と手がけた。デビュー50周年を迎えた今もコンサートツアーを中心に精力的に活動中。現在自らは九州で田舎暮らしを行い、一個人として自然に向き合う暮らしの中で独自の価値観を構築し、多くの共感を得ている。



# 南こうせつ

取材文/山崎隆美



20年ぶりの福岡開催にして、ラスト！  
ウッドストックに憧れた若者たちの軌跡と今。

「さよなら、って言い切っちゃうと寂しいんじゃないかっていうことで、またね、と入れたんです」  
今年、20年ぶりに福岡で開催される「南こうせつサマーピクニック」。阿蘇産山村で第1回が開催されたのは、フジロックが誕生する20年近くも前、81年のことだ。不慣れた場所、誰か出てくれるのか、お客さんは集まるのか...不安材料はいくつもあったろうが、伝説的な「つま恋オールナイト」や日本人ソロアーティストとして初の日本武道館公演を敢行したバイオニアは、このサマーピクニックも見事成功へ導き、90年までの10年間に渡って九州に定着させた。99年の復活後は節目ごとに開催してきたが、ついに今回をもって最後かな...と語る。

「理由はねえ、70(歳)になったら解ると思いますが(笑)。なんか、ちよっと違うんだよね。60になったときは平然と乗り越えて、全然大丈夫と思ったけど。野外で、万単位の人の前で歌うってことは体力も喉も非常に使うので、サマーピクニックとしてはラストかも、という気持ちです」  
そもそもサマーピクニックとは何を指したものであったのか。欧米のロックやフォークに憧れたプロテストソングに強い影響を受けた南にとって、フェスの原型は無論「ウッドストックフェスティバル」(69年)である。その憧憬を胸に、サマーピクニックでは音楽ファンとの間に親密さや信頼感を育んだ。

「僕のファンを呼んだ、ということじゃなく、世代を超えてとんでもないところまで最初からあったんです。だからゲストも、フォーク寄りの人ありロック寄りの人あり、BOOWYやサザン(オールスターズ)も出てる。あのラフィン・ノーズもね」  
持つ、いろんな曲をコピーして歌って。その頃の影響というのはいまだにかなり自分の中にある。その最たるが、やっぱりフォークミュージックの、すこくメッセージのある詞。それまで僕が憧れた洋楽は、プレスリーやコニー・フランシス、リック・ネルソンとかのラフソング的な詞だったけど、フォークを聴いて、戦争や人種差別に歌で言及してるのを初めて聴いた。衝撃でした。そこは今作にも色濃く反映されていると思います。ただ、それもね、意識はしてないんです。心を本当の更地にしたら、こういうアルバムになっちゃった」

「今作の滋味深さは、原点とは違う、土や葉や木の枝やたくさん命が積み重なった地層から浸み出る真水のようなものだろう。加齢や肉体の衰えは自然のこと。でも歌いたいとか、皆と一緒の時間を共有して歌を通して幸せになりたいっていう思いは、絶対に年をとらない。逆に研ぎ澄まされていく」というピュアネスの清々しさも含めて、最後のサマーピクニックにも、同じ希いをもっと立つ」  
「主催者としては天候をはじめ心配事はかりだけ

「笑)。そこに松山千春が来たり、(井上)陽水が来たり。ジャンルを決めず、音楽的な差別をしない、いろんな人に出てもらったから、出てくれる方々もいいですよ!嬉しい!と軽いノリでOKしてくれて。そうやってくうちに、お客さんも僕も意味で育っていったというか。お客さんも僕と同じような感覚でゲストを迎えるから。どんなアーティストが来ても、すこくウェルカムな空気が来ようがラップが来ようが、クラシックが来ようが、全体を愛していくということ。そういうフェスにならないと、寂しいでしょう?」

そんな音楽に対する寛容さや食欲は、当時の活動全般に表れていて、バーナナリティーを務めていたラジオの深夜放送では、2時間の放送の中で自分の曲は1曲しかかけないで、あとはいろんなアーティストを紹介していました。たとえばチヨリップの新作がすこくいいから聴いて!とか、エンケン(遠藤賢司)さんのすこくいいアルバムがある!とか。マニアックなフォークもすいぶんかけた。欧米の曲でもフェアポート・コンベンションとかステイ・フォー・パートナーとか、ヒットチャート外の曲もコレがいいアレがいいって極力かけたね」というから、なんと魅力的な音楽空間であつたらうと垂涎する。そして、今年2月にリリースされたデビュー50周年を迎える新作「いつも歌があつた」には、そういった音楽から受け継いだ歌のコア(核)、民謡のように土地と人に育まれた旋律やリズムの豊饒さが如実に聴いてとれる。

「50年を振り返ってみると、僕の中には特定のジャンルに偏らず、いつも歌があつて、楽しい時も悲しい時もいつも寄り添ってくれていた。そういう今自分の中に残ってるものを、自然と、今回のアルバムで出してみたいと思つたんです。小学校4年生の時に洋楽に目覚めて、中学生の時からギターを

ど(笑)、ミュージシャンとしては100%歌えるように完全に整えていきます。歌に対してオーディエンスがプラスの反応をしてくれるよう歌う責任が僕にはある。皆がプラスの反応をしてくれると僕は嬉しいから、それを受けてまた増幅させてお客さんに返す。このセッションがうまくいくのいいライヴ。そんなふうにヴァイブレーションの交換ができるものにしたいですね。野外だとそこに自然の風っていうのも入ってきて、風や太陽や雲の流れを感じながら、僕もオーディエンスも共に歌って、夕景になる頃には一緒に赤く染まって、そして共に一番星を眺めて幸せな気分になって、終わっちゃったね、いい日だったねと言ひ合いながら帰る。そういうひとつのドラマっていうものを一緒に作り上げていきたいね」  
何にも代え難い充足感と終わりの切なさとしつかりと抱きしめて帰還することができたなら、これほど幸福なことはない。コンサートも、人生も。9月28日、数多のオーディエンスとその幸福を共有できることが、今は楽しみでならない。

2019

南こうせつ  
KOSETSU MINAMI  
**サマーピクニック**  
SUMMER PICNIC  
~さよなら、またね~

ついに今年、開催!  
**9/28**  
福岡・海の中道海浜公園野外劇場



伊勢正三



イルカ



海援隊



BEGIN



森山良子

追加ゲスト決定!  
**長瀬剛**

イベントの詳細は  
オフィシャルサイト  
<https://www.bea-net.com/sp/>





New Album  
**SICKSTEEN**  
A-Sketch  
6.5 ON SALE

昨年10月にメジャー・デビューし、新世代のラップアーティストとして大きな注目を集めている。さなり。アンニュイな佇まい、メロウにもポップにもロックにも自在に行き来できる独特の歌声。02年生まれの16歳、小学校低学年の頃から、ビートボックスやボーカロイド、ラップといった、さまざまな動画をYouTubeなどを通して縦横無尽に楽しみ、自分でも程なくオリジナル動画を投稿。その動画投稿収入で自家用のパソコンを購入したという生粋のデジタル・ネイティブだ。加えて、中学に入ってから「先輩に誘われて始めた」というフリースタイルラップの面白さに耽溺。「遊びの一種」でほとんど毎日、24時間、友だちと一緒にラップをやって「いた」という「とにかく面白かった。フリースタイルもそうですけど、歌詞を書いたり、曲作ったり、それを録ってネットにアップしたり。ただ、そんな時間も中学2年の引越して、スバットと併走してしまっただけでね」。転校先では、音楽仲間も少なく、ほとんど一人。「音楽、

外にもあんまり出なかつたし、フリースタイルで遊ぶ人もいねえなあ、暇やなあと思ってるからさ。本格的に(楽曲制作に)取り組み始めたのは、そんな中で完成させた曲の一つを引っかけ、18年1月A-Sketch主催のラッププロジェクト「OverFlow」で見事グランプリを獲得し、現在に至る。「でも、自分としてはすんなり行ったという感覚はあんまりなくて。やっとな、か...と笑。なんか昔から夢見がちなんです。根拠のない自信。的なものがずっとあるというか。そこはこれからも多分変わらないんじゃないかな(笑)」。6月5日には待望の1stアルバム「SICKSTEEN」をリリース。今作には「韻の踏み方、フロウ、トラック：全部が新鮮で勉強になった。自分の引き出しが増えた」と語る。「憧れ」のS・E・F・E・P・P・E・Sによるメジャーデビュー・シングル「悪戯」をはじめ、「MAYDAY」やMEG・保本真吾(CHESSMITH)、「MUM BRIDGE」、松隈ケンタらスコップのクリエイターたちがこぞって参加した曲がスワリ。

「自分かほんとに好きな曲。やりたいジャンルでやりたいように作った曲をほとんど詰め込んでいたアルバムです」との言葉通り、バラエティ豊かな全11曲が収録されている。「誰にでも心の開き、痛みはあると思います。でも、だからこそ、そんなこと別にいいんじゃない?、みたいな、あえて適当に受け取りたい、そうすることでポジティブな方に持っていきたい。そんな感覚があるかもしれないですね。10月からは初めての全国ツアーも決定。「僕自身、初めての場所もあるので、未知の世界」をすごく楽しみにしています。ラッパの人のとか、フリースタイルが上手い人以外にはなかなか伝わらないんですけど(笑)、露骨に音とかを合わせない韻の踏み方とかも結構やっているんで、その辺りにも注目しながら聴いて貰えると嬉しいかも」。ちなみに今後は「韓国のトラックメイカー、GroovyRoomのような音が出せるようになってほしい。MVの撮影にも挑戦してみたい」と夢は広がる一方のさなり。是非、今後の活躍にも注目したい。



写真プレゼント。  
応募方法はP.11をチェック!



ジャンルを自在に行き来する  
みずみずしい感性のラップアーティスト。

取材/文: なかしまさお

**LIVE!**

詳しくは「BEA WEBサイト」をご覧ください。

さなり 1st LIVE TOUR 「SICKSTEEN」  
11.2(土) 福岡 ROOMS

さなり  
11月16日生まれ。アーティスト名の由来は「ひらがな3文字か4文字で、覚えやすく(ネットで)検索しやすいモノにしたかった。深い意味はない」。自身の曲以外にも私立恵比寿中学への楽曲提供、富士みらい「大嫌い feat.さなり」にフィーチャリングとして参加するなど、幅広い活動を展開。今年1月には10代に人気の恋愛リアリティ番組「白雪とオオカミくんには騙されない」(AbemaTV)にも出演。「前代未開の規約違反」で大きな話題を呼ぶと同時に多くの視聴者に感動を与えた。  
<https://sanaridayo.com/>



# PAELLAS

スティックな音の追究と美しきポップネスの開花  
シーン最前線に立つ新作を携え、間もなく来福!

取材/文: 山崎聡美



写真プレゼント。  
応募方法はP.11をチェック!



New Album  
**sequential souls**  
ユニバーサルミュージック/  
EMI Records  
6.5 ON SALE

**LIVE!**

詳しくは「BEA WEBサイト」をご覧ください。

PAELLAS  
"sequential souls  
RELEASE TOUR"

7.12(金) 福岡 INSA

アンサンブルの深奥へと通ずる豊かな生楽器の音色と、多彩でイマジネイティブなエレクトロの音色とが、精緻なタペストリーを編むように縦横に広がる。PAELLASの新作「sequential souls」は、スティックな音の追究とこれまでのポップネスの開花、新たな世界観への到達を、聴くほどに感じさせる意欲作だ。アルバムとしては1st「Pressure」から2年半ぶりのリリースとなった今作で、まず変わったのは制作の過程だったという。

「これまではセッションで作ったりとか、ギターのAnanが一人で作るパターンが主だったんですが、去年、今作のバイロットとして配信で出した「Orange」はbisshiが手がけて、「Weight」はRyosukeくんとAnanが二人で手がけることで、二人のプロジェクトが新たにできて。メロディもそれぞれが曲を作ってく段階でつけていて、それに僕が歌詞を描くという(やり方)。これまでは僕がメロディをつけることが多かったんですが、その過程で果たして、この曲にこのメロディで正解なのか?と、作曲者の本意のものがどうかってところでも悩むことも多かった。だから今回、曲とメロディという安心材料を揃えてもらって、僕はすごくやりやすかったです」(MATTON、以下同)

インディーR&Bやハウスに傾倒していた「Pressure」と比べ、「リファレンス的にはニューソウルとかのほうが近い。最近のシーンの音作りやハウスの時代的な音を参照している部分もあるけど、全体的なトーンはけっこうカチンと合っている。技術を培い経験値を上げ「音楽として突き詰めつつ人間性も見える」ものを臨みながら、未だバンドは進化の途にある。彼らの内で静かに沸き上がっている情熱の在り様を、ライブでは是非とも確かめてほしい。

PAELLAS(ハエリアス)  
MATTON(Vo.)、Satoshi Anan(Gt.)、bisshi(Ba.)、Ryosuke Takahashi(Dr)から成る4ピース。MATTONとbisshiを中心に大阪で結成、14年より東京を拠点に本格始動。精力的に制作、ライブを続け、16年12月に1stアルバム「Pressure」をリリース。2枚のEP「D.R.E.A.M.」(17年)、「Yours」(18年)を経て、今年6月2ndアルバム「sequential souls」を発表。様々な年代やジャンルの要素を独自のセンスで解釈し、都市の日常、心象風景にフィットするサウンドを生み出している。  
<https://paellasband.com/>

# GRAPEVINE

tour 2019  
2019年6月8日(土) 福岡DRUM LOGOS

光を巡り果てない螺旋を往き来する者たちが  
完成を目指さぬ先に起こした凄まじい昂揚。

文: 山崎聡美 写真: 勝村祐記

### SET LIST

- M1. こぼれる / M2. Alright / M3. FLY
- M4. I must be high / M5. Reason
- M6. ミチバシリ / M7. Asteroids
- M8. リトル・ガール・トリートメント / M9. Big tree song
- M10. スカイライン / M11. 弁天 / M12. 雪解け
- M13. 開花 / M14. 夏の逆襲 / M15. Era
- M16. Good bye my world / M17. ジュブナイル
- M18. God only knows / M19. 光について
- M20. すべてのありふれた光

EN1. smalltown.superhero / EN2. 少年 / EN3. Arma

福岡でのG20の厳戒態勢を尻目に「こっちのG」に集まってきてありがとう」と田中和将が謝辞を述べる盛況ぶりを見た、最新作『FALL THE LIGHT』ツアーの福岡公演。幕開けには田中、西川弘嗣、亀井亨のみが登場し、拍手で迎えたオーティエンズが固唾を呑んだ瞬間、その静寂を切り裂くように奏でられた『こぼれる』。エレキギター弾き語りという原曲の特異さを増幅させ、冒頭からクレイフバインというバンドへの概念をぶつ壊す。熱の帯びる様を弾き狂ったギターの音色で表現した田中と西川、タイトなテンションを保ち続け会場中の気を一瞬も逸らさなかった亀井、加えて歌の凄烈さと求心力を露にしたヴォーカリエーション。概念の破壊と同時に新たな可能性を提示し、創造性を構築する幕開けだった。金戸覚と高野勲が加わった新作リード曲『Alright』では、サイケデリック感とグルーヴも増幅させて肉体への訴求力も一気に高める。ロックの奥深き懐の探求を築くようなカラフルなシーンが続く、ギターからテルミンまで高野のマルチっぷりも早々に発揮されていく。

元号過ぎの本ツアーをネタに「平成からやってますって言うんですけど古いバンドみたいやな」と笑いつつも「寝たい人は寝る、歌いたい人は歌う、踊りたい人は踊る。大切な人を思い浮かべるも、大嫌いな人に呪いをかけるもよし。いつも通り、好きなように。音楽へのリアクションをよろしく」と『Reason』へ。爽快ささえ覚えるアレンジが曲の後半に大きく展開。西川と田中のカッティングの応酬

に始まる、緊張感溢るアンサンブルの激しい鼓動に会場が引き込まれ響き、それを受けた新作の『ミチバシリ』『Asteroids』でも楽曲が内包するカウンター性を鮮やかに音像化、圧巻のバンド力を見せつけた。音とメロディと歌が渾然一体となりダイナミズムを露した中盤、亀井の瞬発力は打ち震えるほど、常に歌との絶妙な距離感でフレーズを刻む金戸のヘーイスは色気と頼もしさを醸し、西川は音色もリフも予測不能の危うさを孕んで静かにクレイジー、田中は『開花』で祈りを託すゴスヘルの佇まいのみならず原始的な歌の魔力にまで到達した。『Era』では、漣のようなやさしいコーラスが起りバンドに寄り添った。聴き手の能動的なアクション、それを起こした『Era』という発展的な楽曲。全てが歓喜に満ちた奇跡だ。

本編ラストは『光』を巡り果てない螺旋を往き来する二つの名曲で締め、さらに全てのエモーションを受け止めそれぞれの物語へ昇華するような『Arma』のカタルシスを以っての大団円。「何も目指していないんですよ。自分たちが面白く思えることをやっているだけで——もはや、という顔で終演後、田中はそう言った。完成も安定も望まぬ先には音楽の昂揚あるのみ。身を尽くしそれを示してくれた濃密な2時間だった。



8月に1stアルバム『CHANGE』をリリースする橋本裕太。待望の1stアルバムには、デビューからの2年間が詰め込まれている。「改めてデビューからの2年間を振り返り、一番強く感じたのが『変化』です。沢山の方と出会えた事、挫折を知った事、そしてこれからもっと変わっていきたくて、さまざまな変化が、今までの、これからの僕を象徴する言葉になるのではないかと思います。『変化』をテーマにしました。バラエティに富んだ全12曲が収められた今作には、おもちゃ箱」という裏テーマもあったそう。その理由をこう語る。「形も用途も違ってもちやん達が一つの箱に集結している、見てるだけでワクワクする感覚を、楽曲で伝えたいからです。曲

橋本裕太(ハジメトユウタ) SNSにアップしたオルゴールカバー動画が話題となり注目を集める。17年8月、シングル『NEW WORLD』でデビュー、iTunesチャートで初登場5位を記録。そのやさしい歌声はメルティボーイと並び、10~20代の女性を中心に人気を得る。その歌声に加え、180cmの長身と甘いルックスでもファンを魅了している。今年、さらなるブレイクを期す。https://hachimotoyuta.com/



New Album  
**CHANGE**  
SME Records  
8.7 ON SALE

# 橋本裕太

集大成のアルバムを  
感謝とともに伝えるライブに。

取材/文: 荒木英喜

**LIVE!** 橋本裕太  
LIVE TOUR 2019 ~あなたに花束を~  
8.10(土) 福岡DRUM SON  
ゲスト / 10神ACTOR・坂田隆一郎

## BEAのWEBサイトが新しくなりました。



- 行きたいコンサートがサクサク探せる!
- チケットの購入方法がわかりやすい!
- 近日中にあるライブもチェックできる!
- BEA VOICE 最新号がWEBでも読める!

もっと見やすく、もっと使いやすく  
[www.bea-net.com](http://www.bea-net.com)  
BEA 検索

SNSでも情報更新中 ▶▶▶ @beatx @BigEarAnts

### 新チケット先行予約サービス開始! BEA WEB [ビューエフ]

会員登録・年会費 無料 / 最新情報をメルマガでお届け!



この他にも受付公演が続々と決定中! チケットをGETするなら今がチャンス!

**jizue**  
Concept Album 'gallery' Release Live

9月13日(金)  
福岡the voodoo lounge

京都を拠点に活動するインストゥルメンタル・バンド、jizue。7/3には、メンバー4人がそれぞれプロデュースし、個性が凝縮されたバラエティ豊かなコンセプト・アルバム「gallery」を発売。全国4カ所を巡るレコ発ツアーの開催も決定!

**People In The Box**  
One Man Tour 2019 Tabula Rasa

9月28日(土) 鹿児島SRホール  
9月29日(日) 福岡the voodoo lounge

3ピース・バンドの限界を突破し続け、幅広く高い音楽性と、独特な歌の世界観で注目を浴びているPeople In The Box。ワンマンツアーとしては、'18年に行われたツアーから約1年ぶりだ。9月からスタートするツアーは16都市・16公演行われ、九州では福岡と鹿児島で開催。

**Creepy Nuts**  
ワンマンツアー2019

10月6日(日) 熊本B.9 V2  
10月7日(月) 鹿児島SRホール  
10月20日(日) 福岡DRUM LOGOS

ラッパー「R-指定」とターンテープリスト「DJ 松永」による1MC1DJのHIP HOPユニット。9月から全国ツアーがスタート。業界最高峰のスキルを持つこの2人がなせる唯一無二のライブパフォーマンスは必見だ。メッセー性が高い、魂が込められた歌をこの胸で受け止める!

**四星球**

10月8日(火) 宮崎SR BOX  
10月9日(水) 大分club SPOT  
10月11日(金) 佐賀RAG-G

「日本一泣けるコミックバンド」のキャッチを持つ、フリーフォー丁に法被というインパクト炸裂のバンド。ノリ良しロックサウンドと庶民的な道具を用いたライブパフォーマンスでオーディエンスを惹き付ける彼らの魅力を体感せよ!!

BEA公式アカウントも要check!

▶ Twitter @beafx  
▶ facebook @BigEarAnts

BEA WEBサイトが見やすく・使いやすくリニューアル!  
www.bea-net.com

文：なかしまさお  
**ある偏愛の、彼方から。**  
メインストリームからアンダーグラウンドまで、各種メディアや実際の街を巡遊する中で見つけた、さまざまな「偏愛」対象を紹介しつづけます。

44 “エンゲキの感動をシネマで体感”  
＝ゲキシネ

なかしまさお | ©writer/music relater/green consumer. 音楽モノを中心に「観る、聴く、そして考える」を軸としておこなっています。今年開催第39周年を迎える映画祭「あいち国際映画祭」には、福岡博多で1993年を起る映画祭「あいち国際映画祭」を上演予定。古田新太、津田英志、早乙女太一、清野孝志、須賀健太らが出演。チケットは7/20(土)18:00～博多地区は各館プレイヤーズにて販売予定。5,650円(税込)。

**福岡ソフトバンクホークス チケット好評販売中!**  
7月・8月公式戦

7月 半額デー	2回 18:00 vs 楽天イーグルス	3回 18:00 vs 楽天イーグルス	4回 18:00 vs 楽天イーグルス	8月 風の祭典 2019 in 東京ドーム vs 埼玉西武
9回 18:00 vs 埼玉西武	10回 18:00 vs 埼玉西武	15回 18:00 vs 北海道日本ハム	16回 18:00 vs 北海道日本ハム	風の祭典 2019 in 北九州 vs 埼玉西武
23回 18:00 vs 千葉ロッテ	24回 18:00 vs 千葉ロッテ	25回 18:00 vs 千葉ロッテ	26回 18:00 vs オリックス	27回 18:00 vs オリックス
28回 18:00 vs オリックス	21回 18:00 vs オリックス	22回 18:00 vs オリックス	23回 18:00 vs オリックス	24回 18:00 vs オリックス

※チケット発売の際はご容赦ください。※試合日程及び試合開始時間は予告無しに変更となる場合がございます。予めご了承ください。※試合中止に伴うチケットの取り扱いは、ホークス公式サイトをご覧ください。

**今月の○○!!** 第68回  
feature of the month

近頃のごきげん SONG	編集部K 王舟「Come Come」 決して羨ましいではないけど、グッドソング。こころゴキゲンに。	編集部M 東郷清丸「L&V」 「愛してるぜベイベー」とか歌詞もくすぐったくて好き。	編集部E 思い出野郎Aチーム「ステップ」 デザイナー 浜井直人ファンの方と一緒に歌って歩きたい。	編集部I NakamuraEmi「ばけもの」 アコギワークがカッコよくてテンション上がる!ギターに魅了した1曲。
仲良くなりたい妖怪	「けらけら女」 笑っただけ、毒はなさそう。実は近くにいたらナイスなキャラかも。	「あかぬめ」 水まわりヨロ!	「一反もめん」 音中に響いて、空を飛んでもらうのが憧れでも高所恐怖症。	「斑(まだら)」 上巻の歌で大部分の紙巻を圧倒する力を持つという。最後の最後にモップモフロニャコ先生。

毎月、お題に沿っていろんなものをpick up! 普段知ることのない、あの人のあんな部分やこんな部分も見えてく! もしかしら、あなたとの意外な共通点が見つかるかも...!!

**「サイン入り写真」** 各1名様

どしどし送ってちょーだい

**PAELLAS** Bコース  
**さなり** Aコース

応募方法 / 下記①～⑥をご記入の上、ハガキまたはe-mailにてお送り下さい。(8月1日消印有効)

①希望商品 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤年齢 ⑥e-mail  
⑦BEA CLUBの方は会員番号 ⑧最近行ったコンサート  
⑨好きなアーティストやライブレポート、その他ご意見・ご感想

●ハガキ / 〒810-0022 福岡市中央区薬院2-10-10 BEA  
●e-mail / beavoic@bea-net.com  
共に「ビーボイス7月号プレゼント係」まで

**KEMURURI TOUR 2019 "ANCHOR"**  
7.20 SAT DRUM LOGOS  
GUEST BAND POTSHOT  
OPEN 17:30 / START 18:00  
STANDING ¥4,000 (ドリンク代別)

チケットのお求めは **チケット** **カキチケット** **各種プレイガイド** **コンビニ** **ヤフオクドーム**にて! 詳しくはホークス公式サイトへ!

お問い合わせ TEL.092-847-1006 営業時間 10:00～18:00  
※ホークス主催ヤフオクドームナイトゲーム開催日は20:00まで  
※上記のお問合せ番号からはチケットの購入はできません。

**Album**  
HUSKING BEE  
ALL TIME BEST 1994-2019

結成25周年、四半世紀の足跡を収めたオールタイムベスト。もはや語ることはない、彼らがいたから日本のメロコアはシーンを超えたポテンシャルを発揮することができた。あらゆる想いを孕んでも駆け、舞う風のような楽曲群は永遠。(山崎聡美)

**Album**  
DYGL  
Songs of Innocence & Experience

“無垢と経験の歌”は英国の詩人W.ブレイクの詩集だが、まさに言い得て妙。ロンドンへ拠点を移し現地でエッジ的な音楽体験を積む中で生まれたサイケデリックな新作。時代を映す音と今を生き抜く僕らのアティテュードがここにある。(山崎聡美)

**Mini Album**  
a crowd of rebellion  
Black\_24:

ヴォーカル・宮田のクリーンパートが冴えるバラード『Dystopia』や、ラウドロックの枠に収まらないアレンジに挑戦した『Anemone』など全6曲。ジャケットは新進気鋭の日本画家・丁子紅子氏による書き下ろし。(本誌編集部)

**DVD & Blu-ray**  
スターダスト☆レビュー  
楽園音楽祭2018 in モリコロパーク

スタレバ夏恒例の野外ライブツアー「楽園音楽祭」、'18年10月に開催された「愛・地球博記念公園 モリコロパーク」のライブ映像を完全収録!メンバーによる爆笑副音声もチェック!(本誌編集部)

**Single**  
大森靖子  
Re: Re: Love 大森靖子 feat. 峯田和伸

メジャーデビュー5周年記念企画の第3弾は、大森が人生の初恋で永遠と語る峯田和伸(銀杏BOYZ)とのコラボ・シングル。当初は曲だけの提供予定がコーラス、アレンジにも参加。2人の共鳴度がより強く伝わる作品へと仕上がっている。(なかしまさお)

**Album**  
AUN Jクラシック・オーケストラ  
響 ~THE SOUNDS OF JAPAN~

和楽器ユニット・AUN Jのコラボ企画第2弾は、大黒摩季や石井竜也、H-ZETT Mなど豪華ミュージシャンが多数参加。万葉集の時代から続く「和」の音に新たな息吹が吹き込まれ、「令和」時代の幕開けにふさわしい1枚に。(本誌編集部)

**Album**  
キノコホテル  
マリアンヌの奥儀

“踊れるキノコホテル”をコンセプトに制作。サイケヤカレージなど従来色は若干弱め。だがその分、ポップでスタイリッシュ。かつアヴァンギャルドなナンバーがスラリ揃った1枚に。また来年への布石?曲名が並んだ時の美しき未だがり感にも脱帽!(なかしまさお)

**Mini Album**  
THE CHARM PARK  
Standing Tall

収録6曲全てにタイアップ付。聴けばデジャヴのように記憶の底を揺さぶるメロと声は、言わばポピュラリティの塊だ。サラリと流麗でありながら1曲1曲が粒立ち、何気ない日常もドラマティックに演出してくれる1枚。(山崎聡美)

**Mini Album**  
神はサイコロを振らない  
ラムダに対する見解

バンド名も本盤のタイトルもインシュタインに由来する福岡発の4人組。繊細さとダイナミックさを同居させたエモーショナルなバンド・サウンド。スリリングなスポークワードからメロウ、弾き語りのナンバーまで自在に表情を変えるヴォーカルも魅力的。(なかしまさお)

takägi presents

# TGC

## KITAKYUSHU 2019 by TOKYO GIRLS COLLECTION

*Celebration!*

2019.10.5 SAT.

5th Anniversary

10月5日(土) 西日本総合展示場新館

開場 12:30  
開演 14:00

### GUEST MODEL



新木優子



池田美優



江野沢愛美



新川優愛



鈴木愛理



Niki



ゆきぼよ (木村有希)



吉木千沙都



### ARTIST

IZ\*ONE

and more... (※50音順)

指定席 オリジナルノベルティ、ルミカライト付

先行価格 **¥10,000** / 一般価格 **¥10,500**

スタンディング自由 ルミカライト付

先行価格 **¥7,000** / 一般価格 **¥7,500**

今ならチケット  
¥500 OFF!

※全チケット、売り切れ次第販売終了となります。  
※4歳以上はチケットが必要です。 ※女性向けイベントの為、男性のみでのご入場はご遠慮ください。なお、ランウェイ沿いの最前列は女性のお客様優先とさせていただきます。

### TICKET

BEA WEB先行 7月6日(土)10:00~8月16日(金)23:59

無料会員登録必要

一般発売 8/17(土)10:00~ LINE TICKET・ローソンチケット・チケットぴあ・イープラス・Yahoo!チケット・楽天チケットにて

[チケットのお問い合わせ] BEA 092-712-4221 www.bea-net.com